



堀岡 敏 喜 議員

新型インフルエンザの優先接種対象者に助成を

問

新型インフルエンザについて尋ねる。

- (1) 発症の実態、ワクチン接種の今後の見通しを聞く。
- (2) ワクチン接種費は4人家族で約2万円と高額である。初流行のことだけでも、優先接種対象者への費用助成を求めたいがどうか。

現状考えていない

答 健康推進課長

- (1) 21年11月末現在、小・中学校と保育所の患者数は1,825人【】である。一般市民は3,500人が発症したと推定している。ワクチン接種は市内16医療機関で行っており、優先接種対象者は約1万8、

800人を試算している。

内訳等は、小学校は学年閉鎖1、学級閉鎖27、感染者1,040人。中学校は学年閉鎖2、学級閉鎖29、感染者515人。保育所は組閉鎖1、感染者270人。

答 市長

- (2) 感染予防に小・中学校や公共施設等で手洗い蛇口を(自動式に)改良している。接種助成は全員で約1億円が掛かる。(インフルエンザ流行に伴い、市負担の)国民健康保険の医療費も大変伸びている。

(全額助成を行う)3,300人の生活保護・市民税非課税世帯の優先接種者を除き、接種助成は現状考えていない。

救急医療情報キットの配布を

問

緊急時における高齢者や障害者に対する対応を聞く。

- (1) ① 一人暮らし高齢者数、② 一人での行動が困難な障害者との同居世帯数を聞く。
- (2) 市には緊急通報システム事業【】があるが、現在の利用者数は、

一人暮らしの高齢者および身体障害者等を対象に、緊急時に備え、無線発信機や通報機器を貸与する。市が定める所得税非課税等の諸要件がある。

- (3) 救急医療情報キット配布事業【】を行い、市民の安心、安全な暮らしを守ってみたいがどうか。

- (2) 135世帯、男性17人、女性118人が利用している。
- (3) すでに前ケ須地区の団体で行われている。

答 市長

一人暮らし世帯に対し安心、安全につながると思う。今後、大いに検討材料にしていきたい。

今後の検討材料にしたい

答 民生部長

- (1) 高齢者等の世帯数は、毎年、民生委員の協力を得て調査している。

持病や服用薬などの医療情報を20数cm程度のプラスチック容器に入れ、冷蔵庫等に保管する取り組み。万一の際、迅速な救命活動に役立つ。東京都港区が始め、全国で導入自治体が増えつつある。



救急情報シート (かかりつけ医や持病などを記入)

救急医療情報キットの配布を